

## みんなで作る共生のまちかしはらプラン パブリックコメント実施結果と市の考えについて

### (1) パブリックコメント実施概要

実施期間	令和5年12月11日～令和6年1月3日		
閲覧場所	○分庁舎1階屋内交流スペース ○子ども総合支援センター1階	○保健センター南館1階 ○市ホームページ	○かしはら万葉ホール1階
意見の提出方法	○直接提出あるいは郵送、ファックス、Eメール、インターネット上の専用フォームによる提出		
意見件数	3人より17件		

### (2) 計画素案に対する意見と市の考え

パブリックコメントとして提出いただいた意見について、その意見（要約）と、意見に対する市の考えを掲載しています。なお、個人の特定につながる可能性のある内容、意見の補足や背景として記載された内容、檀原市の権限の範囲外にある内容については掲載していません。

※ページはパブリックコメント時点素案に基づく

No.	意見箇所※	意見内容（要約）	意見に対する考え	反映
1	39～52 ページ	各事業において取組内容と担当部署が記載されている。第5章にも一部目標の記載があると思うが、それぞれの施策についても具体的な目標や評価指標があったほうが良いのではないかと。	ご意見ありがとうございます。 第5章掲載の目標については、障害福祉サービスや障害児通所支援などを提供することに関して、国が示す考え方（4ページに抜粋記載）に基づいて設定したものであり、福祉サービスの必要量見込や提供体制の確保を目指すものとなります。第4章で掲載した各事業と連動というより、第3章で掲載した施策分野でいうと、ほとんどが「4 福祉サービス」に属し、また他の分野にも関連するものとなります。 例えば、54ページに記載する「(1)施設入所者の地域生活への移行」の場合、「▼本市の目標設定の考え方」	なし
2	第4章・第5章	第4章の各取組と第5章の目標のつながりを示してほしい。		なし

※ページはパブリックコメント時点素案に基づく

No.	意見箇所※	意見内容（要約）	意見に対する考え	反映
			<p>に記載のとおり、「入所等からの地域生活への移行、就労支援、地域生活支援の拠点づくり」等に関しては、第4章の「4 福祉サービス」の各取組、「6 雇用・就労」の各取組などが、特に関連しています。</p> <p>また、それぞれの施策分野や事業の目標・指標設定については、数値化することが難しい施策や事業もあり、統一的に評価していくことが困難と考えています。</p>	
3	40 ページ	<p>1（3）①「福祉教育の推進」において、「～事業の拡充に努めます」と記載されているが、これまでの取組と、今後いつまでに何を拡充する予定なのか教えてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>これまでの取組としては、障がいのあるゲストティーチャーを招いての講話や、グループホームの訪問など、障がい福祉についての現状を知り、体験していただく機会を設けていました。新型コロナウイルス感染症の拡大以降は、タブレット端末を活用し、児童・生徒が自主的に障がい福祉について調べる授業を実施していました。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、従来の体験型の教育に加え、ICTを活用した学習を併用しながら福祉教育を推進していきます。</p>	なし
4	40 ページ	<p>小学生のころから障がいのある同年代の子どもと一緒に授業を受ける機会を設けるなど、直接触れ合い、お互いを尊重し合う体験を全ての学校に取り入れていただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>現在、全小中学校には特別支援学級があり、そこに入級している児童生徒がいます。共に学校生活を送ることで、互いを尊重するとともに多くのことを学んでいます。さらに、授業時間の半分は同じ教室で、学習す</p>	なし

※ページはパブリックコメント時点素案に基づく

No.	意見箇所※	意見内容（要約）	意見に対する考え	反映
			<p>る時間があります。このように、インクルーシブ教育を進めることは、非常に大切だと捉えています。</p> <p>今後については、アンケート結果でも示されている通り、障がいについての理解促進の方法として福祉教育が重要であるという意見が多くなっていることも踏まえ、福祉教育のあり方について検討を進めてまいります。</p>	
5	その他	<p>公共、私用を問わない、障がい者による社会インフラ、福祉インフラの利用の際の総合、全一的な無料無償化をしてほしい。</p>	<p>ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。</p>	なし
6	その他	<p>政策形成における、市民の側からのアクセシビリティの強化を検討してほしい。例えば、市民がもっと容易に議事録等を閲覧できる環境、設備、社会インフラを整備してほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>会議を公開した審議会等の会議録については、市分庁舎1階の行政資料コーナーにて閲覧可能です。</p>	なし
7	40、43 ページ	<p>ぴあぼ～とをもっとひろげてほしい。現状では、人口比率に対してあまりにも空間、面積、場の量が少ない。将来的には、少子高齢化で福祉利用人口は更に増えるので、土地開発や住環境、施設建築の際にも、ぴあぼ～とのような場所を広げて増やしていくことは有益だと思う。</p>	<p>ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。</p>	なし
8	44 ページ	<p>福祉タクシーの夜間の対応の柔軟化について検討してほしい。</p>	<p>ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。</p>	なし
9	その他	<p>精神衛生のみならず、WHOの説くところの霊的健康、霊的衛生に配慮した住環境及び、居住ス</p>	<p>ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。</p>	なし

※ページはパブリックコメント時点素案に基づく

No.	意見箇所※	意見内容（要約）	意見に対する考え	反映
		ペース、公共施設、生活圏の構築が必要である。		
10	その他	多様な場所で、障がい者文化の啓発と、障がい者自らが作る芸術文化活動の参加、紹介を目的としたフリーペーパーやフリーマガジンを作成することを検討していただきたい。	ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。	なし
11	31 ページ	障がい者の虐待防止の為に、当事者が相談しやすいよう、広報やホームページに相談窓口を分かりやすく提示する。病院や学校にポスターを貼ることを進めてほしい。	ご意見ありがとうございます。 今後の参考とさせていただきます。	なし
12	31 ページ	精神患者はストレスで発症しやすい中で、被害を訴える気力のある人は少ないと感じる。また問題の原因が親である場合が多い。そうなる、経済的不安もある、対峙しなければいけない不安もある、服薬しているので体力も、判断力も落ちている。そんな人が、勇気を持って行動に起こすには、助けが、間に入ってもらう人間が必要であり、司法に繋げるには、市の無料相談だけでなく、特定援助対象者として経済的援助が必要である。自治体による障がい者虐待への組織的な対応の徹底をお願いしたい。	障がい者虐待への対応は、一律の対応というより個々のケースに応じて対応していますので、障がい福祉課までご相談ください。	なし
13	63 ページ	市役所などでも相談したが、精神疾患の大人の預かってもらえる施設はないということだった。短期入所や短期入院ができる施設、病院、支援があればと思っているが、そういう緊急時の	ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。	なし

No.	意見箇所※	意見内容（要約）	意見に対する考え	反映
		専門家が常駐する、数日泊めていただける(可能なら家族も付添える)ような施設を増やしていただければありがたい。		
14	38 ページ	高齢者や身体障がいだけでなく、薬のタイミングで判断不可能になる精神障がい者も災害時のケアの対象者にして頂きたい。登録して、毎年災害キットを用意して下さる市もあるようだが、大地震が近いという日本で檀原市も支援を強化していただきたい。	ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。	なし
15	29 ページ	檀原市は老人の徘徊時の対策はされているが、統合失調症における徘徊の対策についてもお願いしたい。	ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。	なし
16	28 ページ	精神疾患の薬は劇薬であり、日中寝たきりになる日は多く、発症の症状さえ、病気が原因か、薬が原因か、というところがある。なるべく入院させたくないと思う家族や、また家族に迷惑をかけたくないと、薬を増やす当事者もいるなかで、医療の選択肢が増えるように力を貸してほしい。市内には県立医大があり、地域の包括医療でも良いが、減薬の為に入院やグループホーム、保険で受けられるカウンセリング、一部の都会の医者しか行っていないような治療方法も、保険内で試してみることができる、あるいは、治療目的なら交通費も市が負担してくれるような支援	ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。	なし

No.	意見箇所※	意見内容（要約）	意見に対する考え	反映
		も考えていただければ、サバイバーと呼ばれるような精神疾患の人の希望になります。		
17	その他	<p>家族会、当事者会があるが、年に数回でも、全員集まって交流できる機会を作って頂きたい。精神疾患を持つ当事者だけでは、病の性質上、妄想も多く現実味のない話が多い、逆に発言するのが苦手だったりすることがある。また、家族だけで話していても、ある程度話したら、ただ励まし合うだけで終わってしまうこともあると考えられる。色々な家族と当事者が一緒に話す機会が増えることで、自分のことを分かってくれるかも、という他の家族の存在が当事者の力になり、発言する機会が増えて何かの問題解決につながったり、困ったときに、家族同士で助け合える関係になれるかも知れない。また、家族会は有料のようだが、経済的に困窮している人の為にも、困ったときに駆け込んで行きやすいように市の支援があればと思う。</p>	ご意見として受け賜わります。ありがとうございます。	なし